

令和5年度上半期

村山市下水道事業業務状況説明書

令和5年4月 1日 から

令和5年9月30日 まで

山形県村山市

目 次

1. 事業の概要	3
2. 経理の状況	4
3. 令和4年度の決算の状況	6

1. 事業の概要

(1) 工事の施工状況

①安定した排水処理のために、長寿命化を目的とした袖崎地区管路施設改築工事や老朽化したマンホールポンプ制御盤の更新工事を行っています。

②定住促進のために、次世代まちづくり開発促進事業（民間宅地開発への補助事業）に伴って、鶴ヶ町・北楯・二日町・南新町地区において下水道の新規整備を行っています。

(2) 業務量

令和5年度上半期の下水道普及状況は、処理区域内人口18,933人で、普及率は行政区域内人口の86.7%です。また、水洗化状況については、水洗化人口16,977人で、水洗化率は処理区域内人口の89.7%です。

そして、令和5年度上半期における処理水量は986,997 m^3 、有収水量は798,103 m^3 で、有収率は80.9%です。

(令和5年9月30日現在)

区 分	令和5年度 上半期	令和4年度 上半期	対前年度	
			増 減	増減率
1. 行政区域内人口(a)	21,845 人	22,338 人	△ 493 人	△ 2.2 %
2. 処理区域内人口(b)	18,933 人	19,300 人	△ 367 人	△ 1.9 %
3. 普及率(b/a)	86.7 %	86.4 %	0.3 %	—
4. 水洗化人口(c)	16,977 人	17,227 人	△ 250 人	△ 1.5 %
5. 水洗化率(c/b)	89.7 %	89.3 %	0.4 %	—
6. 上半期処理水量(d)	986,997 m^3	1,036,410 m^3	△ 49,413 m^3	△ 4.8 %
7. 1日平均処理水量	5,393 m^3	5,663 m^3	△ 270 m^3	△ 4.8 %
8. 上半期有収水量(e)	798,103 m^3	829,631 m^3	△ 31,528 m^3	△ 3.8 %
9. 1日平均有収水量	4,361 m^3	4,534 m^3	△ 173 m^3	△ 3.8 %
10. 有収率(e/d)	80.9 %	80.0 %	0.9 %	—

2. 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	収入額		
		上半期	下半期	計
第1款 事業収益	804,751,000	140,462,464	-	140,462,464
第1項 営業収益	282,268,000	139,934,999	-	139,934,999
第2項 営業外収益	522,463,000	7,553	-	7,553
第3項 特別利益	20,000	519,912	-	519,912

支 出

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	執行額		
		上半期	下半期	計
第1款 事業費用	803,964,000	116,166,816	-	116,166,816
第1項 営業費用	721,671,593	89,420,298	-	89,420,298
第2項 営業外費用	80,208,000	26,672,111	-	26,672,111
第3項 特別損失	84,407	74,407	-	74,407
第4項 予備費	2,000,000	0	-	0

(2) 資本的收入及び支出

収 入

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	収入額		
		上半期	下半期	計
第1款 資本的收入	509,736,000	2,864,230	-	2,864,230
第1項 企業債	147,800,000	0	-	0
第2項 負担金	16,326,000	2,864,230	-	2,864,230
第3項 補助金	12,500,000	0	-	0
第4項 他会計出資金	333,110,000	0	-	0

支 出

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	執行額		
		上半期	下半期	計
第1款 資本の支出	726,005,000	204,656,273	-	204,656,273
第1項 建設改良費	123,303,000	13,747,506	-	13,747,506
第2項 企業債償還金	602,702,000	190,908,767	-	190,908,767

3. 令和4年度の決算の状況

(1) 総括事項

市民生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、下水道管の長寿命化のための管路施設改築工事を実施しました。また、S*mile タウンはやまの宅地造成や次世代まちづくり開発促進事業に伴って下水道の新規整備を実施しました。

令和4年10月分から公共下水道使用料の基本料金を見直して、月10 m³未満の利用者について値下げするとともに、農業集落排水使用料の料金体系を公共下水道使用料と同じ従量制に見直しました。

(イ) 工事施行状況

建設改良費の総額は84,505,451円で、うち下水道施設改良費が59,105,216円です。

安定した排水処理のために、長寿命化を目的とした袖崎地区管路施設改築工事、マンホールポンプ通報装置の切替工事を行いました。

また、定住促進のために、S*mile タウンはやまの宅地造成や楯岡二日町地区の次世代まちづくり開発促進事業に伴って下水道新規整備を行いました。

(ロ) 業務状況

令和4年度末の下水道普及状況は、処理区域内人口19,146人で、普及率は行政区域内人口の86.7%です。また、水洗化状況については、水洗化人口17,116人で、水洗化率は処理区域内人口の89.4%です。

そして、年間処理水量は2,149,575 m³、年間有収水量は1,612,909 m³で、有収率は75.0%です。

(ハ) 経営状況

予算の執行にあたっては、効率的な経営をめざし経費の節減に努力しました。また、使用料や企業債等の収入では賅えない企業債元利償還金や減価償却費を一般会計繰入金で補てんしました。

その結果、収益的収支は、総収益774,798,817円、総費用766,040,085円で当年度純利益が8,758,732円となりました。

一方、資本的収支は、収入総額599,567,089円、支出総額720,347,201円となり、差120,780,112円の収入不足が生じました。この不足額を過年度分損益勘定留保資金44,440,940円、当年度分損益勘定留保資金72,614,095円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,725,077円で補てんしました。

(2) 経営指標に関する事項

令和4年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、公共下水道使用料の基本料金の値下げや人口減少に伴う下水道使用料収益の減少等により前年度比0.7ポイント減の101.1%となりましたが、健全経営の水準とされる100%を上回っています。